



明けましておめでとうございます。

CTF 松阪会員の皆様におかれましては、穏やかな新年を迎えられたことと存じます。

2020 年はねずみ年で干支の最初となっています。みなさんはねずみというどのようなイメージでしょうか？ 単純に繁殖能力が強いイメージがありますね、最近はあまり聞ききませんかねずみ算という計算問題があるくらいですからね。よく言われる意味はというと

- ・子孫繁栄
- ・子宝の象徴
- ・生命の始まり

ねずみは一度に多くの子を産み、妊娠出産までが早ければ約3週間という期間で生まれるそうです。そういった点からも子孫繁栄、子宝という意味が込められていると言われています。子年生まれの“守り本尊”は“千手観音”とのこと。一千の慈眼をもち一千の手を動かして一切衆生を救うという、有難い菩薩様です。

昨年 12 月 7 日(土)、8 日(日)に、松阪市障害者福祉センターで恒例の“障がい者作品展”が開催され、CTF 松阪の講座で勉強された 5 名の方々から年賀状やカレンダーを出展して頂きました。



葉牡丹

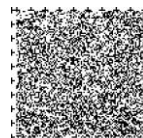
毎年 12 月になると畑で育てた葉牡丹を鉢植えに移植しています。今年は暖かい日が続いたためかいまいち葉牡丹の発色がよくありませでしたが、ここにきて寒さも増してきたころからようやく色づきも良くなってきました。

2月頃を過ぎると、中心がだんだん盛り上がりだして、月末にはとうがでてきてます。例年ですと抜き取って春咲きの草花に植え替えていましたが、今年はこのままで残してもうしばらく様子を見ようかと思っています。



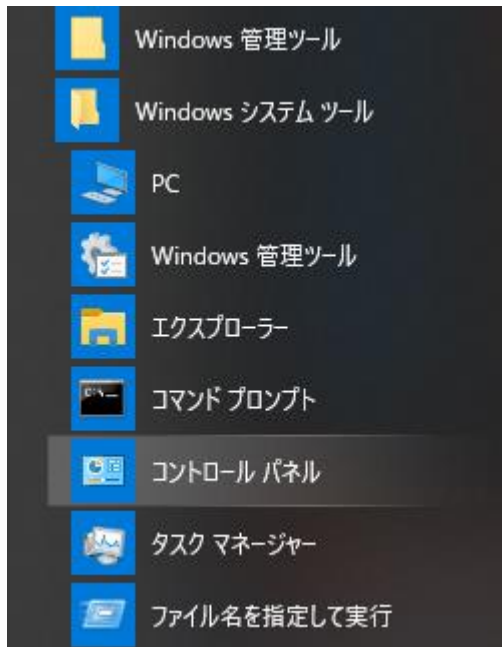
UP

今月号は文字数が多いので、第 3 ページ、第 4 ページに SP コードを 2 個付けてあります。第 1 ページ、第 3 ページ、第 4 ページでは、先に左下の SP コードを、次に右下の SP コードを読んでください。



Windows 10 で素早くコントロールパネルを開く方法（1）

Windows 10 では、コントロールパネルを開くのに若干手間がかかります。そこで素早くコントロールパネルを開く方法を紹介します。



Windows 10 では、多くの設定が [Windows の設定] アプリに移行したものの、相変わらず「コントロールパネル」にも各種設定が残されています。たまにコントロールパネルを開く際は、[スタート] メニューをクリックして、多くのメニュー項目から [Windows システムツール] - [コントロールパネル] を探さなければならず面倒です。またアップデートによってメニュー構成などが変更されてしまい、以前あったはずのメニューが使えなくなることもよくあります。



★キーボードショートカットを使ってコントロールパネルを開く方法

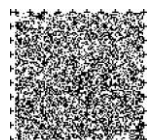
[Windows] + [Pause] キーで [システム] 画面が開くので、ここで左上の [コントロールパネルホーム] のリンクをクリックすればコントロールパネルのトップページを開くことができます。なお [Pause] キーが省略されているようなノート PC では、この方法は使えないので注意してください。

ここをクリックして [コントロール パネル] を開く

[Windows] + [Pause] キーで [システム] を開く

システム	
プロセッサ:	Intel(R) Core(TM)2 Duo CPU T7100 @ 1.80GHz 1.80 GHz
実装メモリ (RAM):	4.00 GB
システムの種類:	64 ビット オペレーティング システム、x64 ベース プロセッサ
ペンとタッチ:	このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できません

コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定





活動報告

【12月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
(17日、24日)

難病患者さんへの意思伝達支援
(5日、25日、26日)



活動予定

【1月】

障がい者対象個人向けパソコン講座
7日、14日、21日、28日
松阪市障がい者福祉センター 9:30~11:30

徒然なるままに

都をどり

正月なので“艶（あで）やかな”「都をどり」を紹介しようと思うのじゃ。

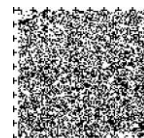
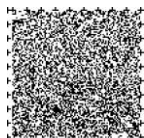
京都に春を呼ぶ風物詩であり、京都最大の花街・祇園甲部の芸妓・舞妓による舞踊公演であるぞ。開催期間は4月1日から約1ヵ月間。名高い「ヨーイヤサー」の掛け声とともに銀襖の前の総をどりで幕を開け、約1時間、全8景の一幕仕立て。いったん幕が上がると幕を下ろすことなく爛漫の春、夏、錦秋の秋、深雪の冬、そして再びの春の花見で幕を閉じる華やかな舞台じゃ。

明治5年から始まり、会場は祇園甲部歌舞練場、いわゆる“歌舞練場”を本拠地としているが、耐震工事のため休館となって、舞台を移して開催している。わしが見に行った3年前は、京都造形芸術大学の春秋座で公演しておった。

プロローグとなる第1景は、「ヨーイヤサー」の掛け声とともに花道から進み出た舞妓たちが、藍地に枝垂れ桜の揃いの衣裳に身を包み、柳と桜の団扇を携えながら息を合わせて舞うのじゃ。第2景からの各景では、京都をはじめとする名所旧跡を歴訪しつつ、春・夏・秋・冬の季節にちなんだ情景を舞い、華やかな舞台装置の早変わりも見どころじゃ。フィナーレとなる最終景は、出演者が総出で、爛漫の桜が咲きにおう花見の風景となり、芸妓・舞妓の群舞で幕を下ろすのじゃ。



芸妓・舞妓が登場するのはステージだけではないぞ。舞台上手（向かって右手）では「地方（じかた）」と呼ばれる芸妓が黒紋付姿で三味線を弾き、唄をうたい、舞台下手（向かって左手）では舞妓が太鼓や笛などの「鳴り物」を奏でるのじゃ。



今月はCTFの活動をあまりしてなさそうなUPさんから投稿いただきました。



リレー随筆

200

松島で島巡りしてきたよ

仙台から国道45号線を北上し松島海岸を目指します。以前来た時は5月の連休のため松島へ続く道が大渋滞で途中で引き返した思い出があります。というわけで今回はリベンジです。

相変わらず45号線渋滞です。松島の駐車場はそれなりにあるのですが車でくるとどうしようもないです。

では早速観光船を目指します。観光船はいろんなコースが用意されているのですが今回は松島湾内を周回するコースを選択しました。所要時間50分です。その前にネットから割引券を入手しておきましょう。

駐車場を出た時に気が付いたんですが、周りから聞こえてくるのはほとんど日本語じゃないのね。ここ日本だよね？

松島の湾内は鳥羽と同様多くの島があり見慣れた風景でした。ただ先の震災の爪あとがあり崩れた岩肌などが散見されここだけは復興されずそのままでした。以前と景観が変わったとのことでした。

お昼は「松島さかな市場」で松島かきバーガーと海鮮丼食べてきました。おいしかった～。

松島のお土産として何がいいかなとブラブラと散策。ずんだ餅とか饅頭とかはパスします。松島蒲鉾本舗で笹かま手焼き体験にチャレンジ。近くにカレーパンの専門店があったのでカキがまるごと入った「牡蠣カレーパン」なるものを食してきました。またまた発見カキせんべい。

お土産いっぱい買ってきました。お裾分け届きました？えっもらってないって…



UP

編集後記

あけましておめでとうございます。本年も昨年同様よろしくお願いいたします。

昨年は、平成から令和へと元号が変わり何かとあわただしい年でもありました。2020年は東京オリンピックも開始され、新しい物事や運気のサイクルの始まる年になると考えられています。

皆様にも良い事が沢山ありますように。



CTF 通信第202号

2020年(令和2年)1月発行
発行者 ITを活用した障がい者支援NPO法人

CTF 松阪

発行責任者 山田 則 男

住所 〒515-0083

松阪市中町6-9-1401

電話 0598-26-6333

URL <http://ctf.dip.jp/>

